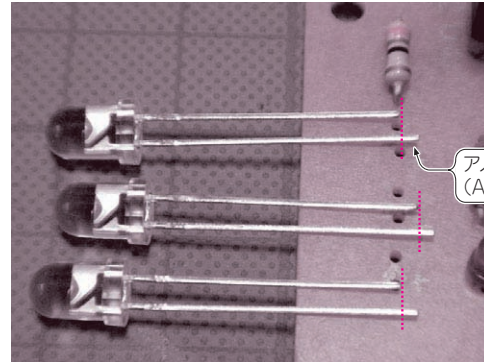


6 時限目・赤外線 LED の取り付けと完成

赤外線LEDの取り付け

赤外線LEDの外観は普通のLEDと区別が付きません。大きさも形もほぼ同じです。電流を流しても光っているのを目で見ることはできません。

赤外線LEDの足にもA：アノードとK：カソードがあります。アノードが長くなっているので、これを⊕と考えて取り付けを行います。

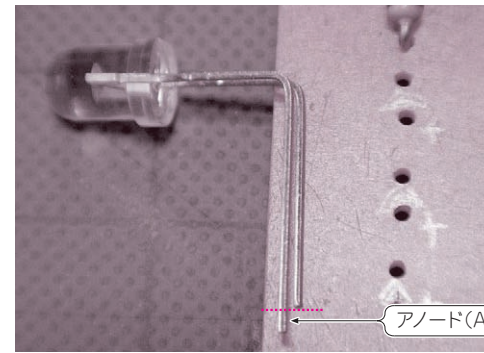


P-99

赤外線LEDの取り付け

足の加工

アノードを手前にし、右の写真を参考にして、90°折り曲げてください。3本とも同じように加工します。

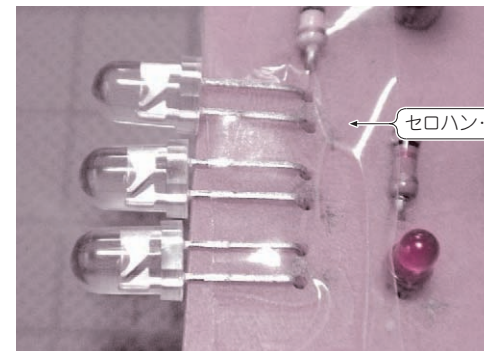


P-100

90°足を曲げておく

仮組み

基板の穴に足を挿し込みます。三つのLEDの先端が揃うようにテープで仮止めしてください。

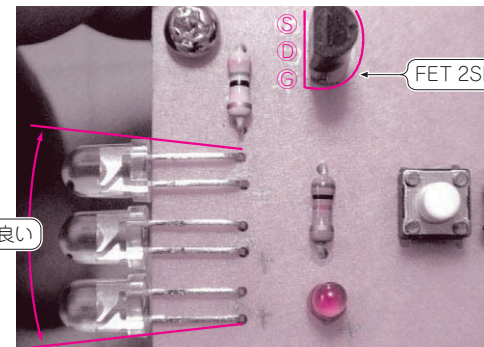


P-101

セロハン・テープで仮止めする

はんだ付け

基板を裏返して、はんだ付けします。余分な足はニッパーで切り取ってください。FET 2SK2961もここで取り付けます。これで完成です。



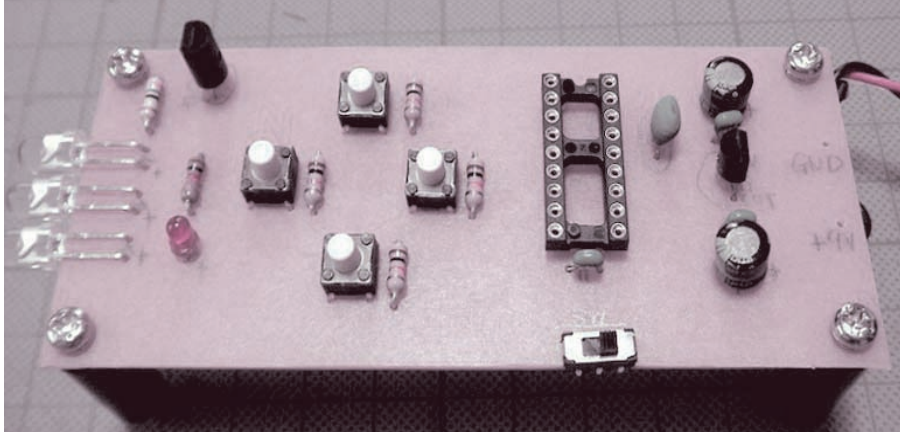
P-102

LEDとFETをはんだ付けする

最終確認

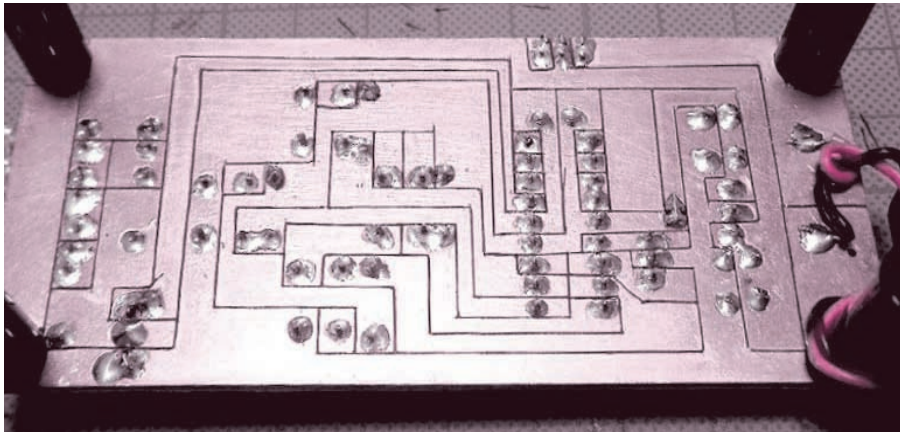
完成した基板をもう一度見直して、抵抗の取り付けに間違いがないかどうかを念のため、確認します。

基板を裏返して、ショートなどがないかどうかも確認してください。



P-103

完成したPIC赤外線送信ボード(PIC未装着)

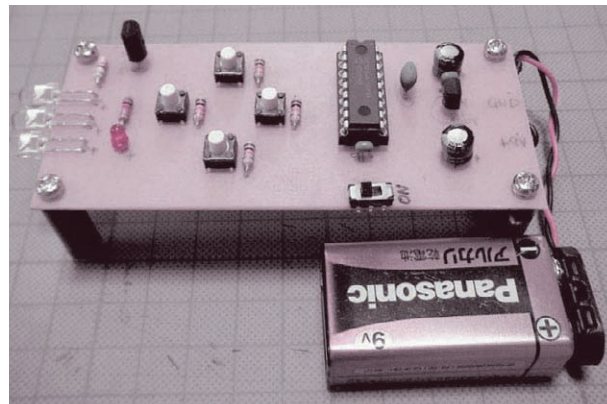


P-104

基板のはんだ面

完成！

確認用ファームウェアは5時限目と同じです。書き込み済みのPIC16F88/16F84Aをソケットに装着します。電池スナップに電池を接続してください。



P-105

完成した基板

このPDFは、CQ出版社発売の「赤外線制御で学ぶPICとC言語」の一部の見本です。
内容・購入方法などにつきましては以下のホームページをご覧ください。
<http://shop.cqpub.co.jp/hanbai/books/13/13481.htm>